

7 吹 水 工 第 3 6 9 号

令 和 0 7 年 1 2 月 0 2 日

国土交通大臣 殿

吹田市長

社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、別添のとおり社会資本総合整備計画を取りまとめたので提出する。

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年12月01日

計画の名称	水道施設整備計画2035（重点計画）（防災・安全）														
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	吹田市														
計画の目標	近年多発している大規模地震や上町断層帯地震に備えて、水供給の重要な役割を担う基幹管路は耐震化の視点で、各家庭、事業所へ供給する役割を担う配水支管は更新の視点で併せて耐震化整備を行い、漏水防止と付属施設を含維持管理に努め、水道システム全体を健全な状態に保つとともに更なる強靱化を進めます。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		2,513	A	2,513	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R7当初）	（R9年度末）	（R11年度末）
1	基幹管路の耐震管率の向上（R7年度当初：53.2％→R11年度末：60.0％）			
	基幹管路の耐震管率（％）	53％	57％	60％
	基幹管路のうち耐震管延長（48,537m） / 基幹管路延長（91,184m） × 100			
2	重要施設に接続する水道管路の耐震管率の向上（R7年度当初：60.0％→R11年度末：80.0％）			
	重要施設に接続する水道管路の耐震管率（％）	60％	69％	80％
	重要施設に接続する水道管路のうち耐震管延長（32,931m） / 重要施設に接続する水道管路延長（54,494m） × 100			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
（吹田市強靱化地域計画）：A07-001,A07-002												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	吹田市	直接	吹田市	-	-	管路整備事業（重要施設 配水管）	重要施設に接続する配水管の 耐震化	吹田市	■	■	■	■	■	2,505		策定済	
	A07-002	水道	一般	吹田市	直接	吹田市	-	-	管路整備事業（水道施設D X推進事業）	人工衛星を活用した漏水調査 業務	吹田市		■				8		策定済	
												小計						2,513		
											合計						2,513			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	21				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	21				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	21				
うち未契約繰越額(g)	21				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	事業計画の再検討				

事前評価チェックシート

計画の名称： 水道施設整備計画2035（重点計画）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I．目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I．目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II．計画の効果・効率性 事業計画の目標と定量的指数の整合性	○
II．計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II．計画の効果・効率性 事業の効果の見込みの妥当性	○
II．計画の効果・効率性 当該事業を実施する水道事業等においてPPP/PFI手法の導入が検討されてるか。（事業費10億円以上のもの）	○
II．計画の効果・効率性 令和7年度に新規要望する事業について、令和6年4月1日までに対象事業の事業見通し（事業内容や対象施設等）が公表されているか。（給水人口10万人以上の水道事業者等が実施する事業費10億円以上のもの）	○
II．計画の効果・効率性 令和7年度に新規要望する事業について、令和6年4月1日までに民間企業からのPPP/PFI導入に関する提案窓口が設置されているか。（給水人口10万人以上の水道事業者等が実施する事業費10億円以上のもの）	○
III．計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等）	○
III．計画の実現可能性 地元の機運（当該事業に係る要望等）	○

計画の名称	水道施設整備計画2035（重点計画）（防災・安全）		
計画の期間	令和7年度～令和11年度（5年間）	交付対象	吹田市

A07-001：管路整備事業（重要給水配水管）
A07-002：管路整備事業（水道施設DX推進事業）

